

子宮頸がん 臨床試験実施企業一覧

更新日:2023年1月1日

公開年	公開日	臨床試験ID	治験名	治験依頼者	治験のフェーズ	治験成分記号（治験薬一般名） （Japic, JRCTから情報抽出）	治験の概要	実施状況
							<ul style="list-style-type: none"> ・ JAPIC - 試験の概要 ・ JRCT-研究・治験の目的 	
2019年	2019年2月25日	JapicCTI-194639	日本人進行固形悪性腫瘍患者を対象とするTisotumab Vedotinの非盲検第I/II相試験	ジェンマブ株式会社	1-2	チソツマブ ベドチン (Tisotumab vedotin)	用量漸増パートでは固形癌患者を対象にtisotumabvedotin の最大耐量 (MTD) 及び/又は第2 相推奨用量 (PR2D) 並びに安全性プロファイルを判定する。拡大パートでは子宮頸癌患者を対象に、特定の用量の安全性、忍容性、薬物動態および抗腫瘍活性に関するデータを評価する。	登録終了
2019年	2019年6月17日	JapicCTI-194802	指定された進行性固形腫瘍患者を対象としたGSK3359609の単剤療法及び抗がん剤との併用療法における第1相非盲検試験	グラクソ・スミスクライン株式会社	1	GSK3359609、ペムプロリズマブ	GSK3359609の安全性及び忍容性を評価する	登録終了
2019年	2019年8月9日	JapicCTI-194912	局所進行子宮頸癌患者を対象とした、デュルバルマブと化学放射線療法の同時併用療法及びその後のデュルバルマブ単剤投与の有効性及び安全性を化学放射線療法と比較する第3相無作為化二重盲検国際多施設共同試験	アストラゼネカ株式会社	3	デュルバルマブ、	局所進行子宮頸癌患者を対象に、デュルバルマブと化学放射線療法の有効性と安全性を化学放射線単独療法と比較する第3相無作為化二重盲検国際多施設共同試験である	登録終了
2020年	2020年2月28日	JapicCTI-205189	高リスクの局所進行子宮頸癌患者を対象とした MK-3475と同時化学放射線療法の併用療法及び同時化学放射線療法の単独療法を比較する二重盲検、無作為化、第III相試験 (KEYNOTE-A18 / ENGOT-cx11)	MSD株式会社	3	化学療法+ペムプロリズマブ	本治験は、局所進行子宮頸癌患者を対象にMK-3475と同時化学放射線療法の併用療法及び同時化学放射線療法の単独療法の有効性と安全性を比較評価する。主要仮説：MK-3475併用同時化学放射線療法は、プラセボ併用同時化学放射線療法と比較して、PFSおよびOSをそれぞれ延長する。治験の目的を達成した又は治験が終了した場合、患者は本治験を中止して継続試験に移行することにより試験で規定した評価及び投与を継続する。	登録終了
2020年	2020年3月5日	JapicCTI-205209	進行固形がん患者を対象としたKAZ954の単剤投与並びにspartalizumab、NZV930、及びNIR178との併用投与を検討する第I/II相、オープンラベル、多施設共同試験	ノバルティスファーマ株式会社	1	KAZ954、NZV930、NIR178、スパルタリズマブ（遺伝子組換え）	本治験の位置付けは、進行悪性腫瘍の成人被験者を対象として、KAZ954を単剤投与並びにspartalizumab、NIR178又はNZV930と併用投与したときの安全性、忍容性、薬物動態 (PK)、薬力学 (PD) 及び抗腫瘍活性を明らかにすることである。	
2020年	2020年3月6日	JapicCTI-205212	プラチナ系化学療法の実施中又は実施後に病勢進行が認められた切除不能進行子宮頸癌患者を対象としたbintrafusp alfa (M7824) 単剤療法の第II 相多施設共同非盲	メルクバイオフファーマ株式会社	2	M7824	化学療法歴のある子宮頸癌患者を対象として、M7824の有効性及び安全性を評価する	登録終了
2020年	2020年8月27日	JapicCTI-205458	局所進行または進行子宮頸癌患者を対象とした bintrafusp alfa とその他の抗腫瘍療法との併用における安全性試験	メルクバイオフファーマ株式会社	1	ビントラフスプ アルファ (Bintrafusp alfa, M7824)、カルボプラチン、パクリタキセル、ペバシズマブ、シスプラチン	局所進行又は進行子宮頸癌患者を対象として、bintrafusp alfaをその他の抗腫瘍療法と併用した場合の安全性及び忍容性を評価する	登録終了
2021年	2021年5月25日	JRCT2031210113	HER2異常による固形癌で、局所進行性、切除不能又は転移性であり、治療歴を有する被験者を対象とした、Tucatinib及びトラスツズマブの併用療法第2相バスケット試験	Seagen Inc. (CRO:PRAヘルスサイエンス株式会社)	2	ツカチニブ (Tucatinib)	治療歴がある、局所進行性、切除不能又は転移性のヒト上皮増殖因子受容体2 (HER2) 過剰発現/増幅又は変異固形癌を有する被験者を対象として、tucatinib をトラスツズマブと併用投与した場合の抗腫瘍活性を評価する	
2021年	2021年8月6日	JRCT2011210028	二次又は三次治療の再発又は転移を有する子宮頸癌を対象にtisotumab vedotinと治験担当医師が選択した化学療法とを比較検討する、第3相、無作為化、非盲検試験	Seagen Inc. (CRO:PRAヘルスサイエンス株式会社)	3	チソツマブ ベドチン (Tisotumab vedotin)	子宮頸癌の二次又は三次治療におけるtisotumab vedotinの臨床的有効性の改善を、化学療法との比較により実証する	
2021年	2021年9月22日	JRCT2031210335	特定の固形がん患者を対象としたMK-7684A (MK-7684とMK-3475の配合剤) の単独療法及び他の抗悪性腫瘍剤との併用療法を評価する多施設共同非盲検第II 相バスケット試験	MSD株式会社	2	ビボストリマブ (Vibostolimab)、ペムプロリズマブ、ペムプロリズマブ、レンバチニブメシル酸塩	固形がんの治療効果判定のためのガイドライン (RECIST) 1.1に基づき盲検化された中央画像判定機関 (BICR) が評価した奏効率 (ORR) 及び無増悪生存期間 (PFS)、RECIST1.1に基づき治験担当医師が評価した奏効率 (ORR) を評価する。	登録終了
2021年	2021年11月9日	JRCT2031210417	特定の進行又は転移性固形がん患者を対象としたTAK-981とペムプロリズマブの併用療法の安全性、忍容性及び抗腫瘍活性を評価する第Ib/2相試験	武田薬品工業株式会社	1-2	スバスムスタット (TAK-981)	特定の進行又は転移性固形がん患者を対象にペムプロリズマブとの併用投与したときのTAK-981を評価する。本治験の主な目的はペムプロリズマブとの併用投与したときのTAK-981の安全性、忍容性、予備的な有効性を評価することである。	
2022年	2022年3月8日	JRCT2031210652	進行固形癌患者を対象としたBI 765179単剤投与及びezabenlimab (BI 754091) 併用投与の非盲検第1相用量設定試験	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	1	BI 765179	本第1相試験の主要目的は、BI 765179を単剤投与及びezabenlimabと併用投与したときの最大耐量 (MTD) を決定し、進行及び/又は転移性固形癌患者を対象とした併用投与のさらなる開発のための推奨拡大用量 (RDE) を決定することである。その他の目的として、BI 765179の安全性及び忍容性を評価し、薬物動態及び薬力学的特徴を明らかにし、予備的な臨床的活性の指標を評価する。	登録終了